

ペネトレーションテストの自動化で「脆弱性」への対応を万全にする!!

2023年は日本国内でも多くのセキュリティ侵害事件が公表された。公共性の高い機関や組織を例にあげると、7月に名古屋港コンテナターミナル、8月に内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)、日本学術振興会、国立科学博物館、11月に宇宙航空研究開発機構(JAXA)といった機関や団体が相ついで被害を公表。これらを横断的に精査すると「脆弱性」(コンピュータシステムに内在するセキュリティ面のバグや設定不備といった弱点)がキーになっていることがわかる。

多様化・高度化する脆弱性のリスク

の脆弱性ではないか、といわれている。

こうした公共機関での事例について、長年にわたってサイバーセキュリティに取り組む(株)ブロード(東京都千代田区)は

2023年に脆弱性をつかれた公共機関のなかでも、名古屋港コンテナターミナルでのランサムウェアによるシステム障害の発生は、およそ3日間にわたるターミナルの操業停止を引き起こすなど、社会的なインパクトが大きかった。国土交通省が設置した情報セキュリティ対策等検討委員会の中間とりまとめによると、このインシデントでのランサムウェアの感染経路は

①VPN(仮想のプライベートネットワークを構築し、安全な通信経路を介して内部ネットワークに接続する技術) ②USBメモリ ③名古屋港統一ターミナルシステムと港湾事業間のネットワーク接続の変換部分からの侵入のいずれかによるものと考えられている。有力視されているのは被害状況からVPN機器

「近年は名古屋港コンテナターミナルのケースのように、ネットワーク経由でその脆弱性を狙うというパターンが多発している」と指摘する。だが、脆弱性の管理・対策は容易ではない。事実、一定レベルのセキュリティ対策をとっているはずの公共機関でも実際に侵害が起きている。たとえば、名古屋港コンテナターミナルでの調査報告では侵害経路が3種類あることまでは絞られたが、その具体的な特定にはいたっていない。さらにその対策ポイントを洗い出しておくことはより困難とされている。というのも、脆弱性の管理・対策を行うには、自社で使用している全システムのチェッ

クと各メーカーが注意喚起を促す脆弱性情報などを総合的に検証し、修正プログラムを実行しなければならぬからだ。実際、マイクロソフト製品だけでも2022年に公表された脆弱性は1292件に達するし、自社システムの総チェックとなると、かなりの知識が求められる。また、なかには情報が未公開で修正プログラムが未提供のものも存在し、最近ではAIを悪用する高度な攻撃も増えており、どうしても対応が後手に回ってしまう傾向がある。

入・侵害の経路や方法を見つけて出すというものだ。だが、サイバー攻撃が多様化・高度化するなか、そのペネトレーションテストを実施する専門家さえもこれらの最新情報についていけなくなってきたという。

そこで注目したいのが、ブロードが提案するペネトレーションテストの自動化ツール「RidgeBot」だ。これはハッキング情報とAIの能力を組み合わせたRidge Security社製のツールで「最良の対策はハッカーと同じように考えること」をコンセプトに開発されたペネトレーションテストソフト。これを導入すれば自動的に疑似攻撃を行って侵入経路を見つけ出し、対策の優先度を含む診断結果を提示してくれるという。このように外部からの侵入に弱い脆弱性に対応していくには、こうした最新のツールの導入が不可欠ではないか。

「RidgeBot」を導入してペネトレーションテストを自動化

こうしたなか、金融系などセキュリティ対策を重視する企業の一部ではペネトレーションテスト(侵入テスト)と呼ばれる検査が一定周期で行われている。これは高度な知識を持つ専門家が模擬攻撃を仕掛け、その侵

今、要求されるのは高い事業継続性! 課題は人材と時間的な制約!

— 最新技術で課題の早期解決をブロードが2つの分野のソリューションで実現 —
 将来の方向性を両社のCEOが講演!!

Neverfail社(米国): アプリケーションの高可用性を実現!
 Ridge Security社(米国): AI駆動の侵入テストを完全自動化!

2024年2月22日(木) 開演13:30(開場13:00) 参加費:無料
 会場: JA 共済ビル カンファレンスホール (東京都千代田区/永田町駅徒歩2分) 定員: 200名

● 詳細・お申し込みはイベントページで <https://bs-square.jp/t/228>

株式会社ブロード 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-30 サウスヒル永田町 7F TEL: 03-6205-7463(代)



— 特別講演 —

変化し続ける企業環境における
 ビジネスレジリエンスの向上

■主催: (株)ブロード
 ■協賛: (株)アイネット/アイティーディレクト(株)GRCS